

2011年(平成23年)4月5日 火曜日

# 東日本大震災支援

# 岩手、宮城へ仮設診療所

## AMDA計画 地元医師の拠点に

国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市)の菅波 茂代表は4日、東日本大震災の支援活動として岩手県大槌 町と宮城県南三陸町に地元医師の診療拠点となる仮設診療 所を設ける計画を明らかにした。

資の輸送のほか、岩手 県大槌町の大槌高の生 徒を対象とした奨学金 制度の創設も決めてい る。

菅波代表は「震災か ら3週間が過ぎ、今後 は復興に向けた支援 に力を入れていきたく い」と話した。

(新田真浩)

計画では、4月中を めどに両町内にプレハ ブの仮設診療所を設 け、心電図や血球計数 装置など被災者の健康 状態がチェックできる 装置を入れる。設置場 所の詳細や運営方法は 今後、地元医師と協議 する。

避難所が閉鎖された 後に被災した地元医師 らが働く環境を整える ため、仮設診療所を計 画した。

AMDAは震災発生 直後から被災地で医療 支援などを展開し、こ れまでに医師、看護師 ら延べ114人が現地

入り。医薬品や救援物